

MITSUBA

車両接近通報装置

SK-003

取付・取扱説明書

M-002-026-B

このたびは、「車両接近通報装置 SK-003」をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
ご使用になる前に、本書を必ずお読み頂き、正しくご使用ください。
お読みになった後も、本書は必要なときに確認出来るよう大切に保管してください。
☆本品を譲渡される場合や別のお車に取り付け直す場合も、本書を必ず本品に付帯させ、お使いになる方がいつでも見られるようにしてください。
お取り付けには専門知識が必要です。専門業者にご依頼ください。

商品に関するお問い合わせ窓口
株式会社ミツバサンコーワ カスタマーサポートセンター
〒379-2312 群馬県みどり市笠懸町久宮 289-3
☎ 0277-30-5802

調査及び修理をご依頼の前に

- 調査及び修理をご希望される場合には、お買い上げの販売店様または弊社カスタマーサポートセンターまでご相談ください。
- 不具合の内容によっては、保証対象外となる場合があります。保証範囲について裏面の保証規定をご確認ください。
- 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。
- 弊社では、商品の調査時の代品等の貸し出しは、一切おこなっておりません。また、調査時に発生した工賃等の諸費用は、お客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。

1 注意事項

ここには、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されることを意味します。

- ・本品は、12V仕様のトヨタハイブリッド車用です。その他の車両への取り付けは出来ません。
- ・本品は、お車の走行を歩行者に知らせるために通報音を発生させるものです。これ以外の用途に使用すると思わぬ事故や本品の故障になりますので、絶対に使用しないでください。
- ・本品は、運転者の注意義務を軽減するものではありません。周囲の安全を十分確認して走行してください。また、本品使用中に発生した事故に対しては、本品の作動の有無にかかわらず、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・取り付けには専門知識が必要です。専門業者に取り付けをご依頼ください。弊社では、お取り付けに関する資料をご用意しておりません。
- ・本品の取り付けは、本書に従っておこなってください。正しい手順が守られなかった場合、本品や車両の故障及び事故の原因となります。
- ・本品のコントロールボックス及びスイッチは、運転の妨げになる場所やエアバッグの動作を妨げる場所には取り付けないでください。事故の原因となります。
- ・配線類が可動部やカバー等に挟み込まれないようにしてください。断線やショートし、本品や車の故障及び火災の原因となります。
- ・配線類は、ステアリングシャフトやペダル類等の可動部付近に配線しないでください。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。

注意 取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険性が想定されることを意味します。また、物的損害が発生する恐れがあることを意味します。

- ・テスターで配線先を確認する場合を除き、バッテリーケーブルのマイナス端子を外してから作業をしてください。ケーブルを外さないで作業すると、配線がショートし故障や火災の原因となります。外し方については、車両搭載装置に悪影響を与える恐れがありますので、お近くのカーディーラーやサービスマニュアル等で確認してください。
- ・本品の配線接続時は、付属のエレクトロタップのフタを確実にロックしてください。エレクトロタップの金属部が車体の金属部などに接触すると、ショートし本品や車両の故障及び火災の原因となります。
- ・本品の黄コードを間違えて常時電源線に接続してしまうと、スイッチのLEDが消えなくなりバッテリー消耗の原因となります。本品の黄コードは、必ず、イグニッションが「OFF」の位置でOV、「ON」または「ACC」の位置で+12Vがかかるコードに接続してください。
- ・本品の分解・塗装・改造はおこなわないでください。故障の原因となります。また、本品を落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。破損、故障の原因となります。
- ・本品のコントロールボックス、スイッチは防水仕様ではありません。必ず、水のかからない場所に設置してください。故障の原因となります。
- ・高圧洗車機等でスピーカーの正面から強く水をかけないでください。故障の原因となります。
- ・ヒューズの交換の際には、必ず0.5Aヒューズをお使いください。容量の異なるヒューズを使用すると本品の故障の原因となります。

2 商品の特徴と主な仕様

- 前後進ともに発進後、約2km/hから約20km/hまで自動で発音。煩わしい操作は不要。
- 車速に連動して、3段階に音量・音程が変化して車の走行をアピールします。
- スwitchは、作動状態が一目でわかるLEDインジケーター機能付き。
- 不要なときにはいつでも消音出来るワンタッチ消音機能
高速道路での渋滞中など発音が不要なときには、スイッチの短押し(2秒未満)で消音出来ます。
※再度スイッチを短押しするか、イグニッションを再投入すると発音状態に戻ります。
- 騒音に配慮した夜間減音機能
イルミネーション線に接続することで、スモールランプ点灯に連動して自動的に減音させることが可能です。
- 2パターンの通報音を選べる通報音選択機能
スイッチの長押し(2秒以上)で、メインの通報音から、サブの通報音に変更出来ます。
※再度スイッチを長押しするか、イグニッションを再投入すると初期設定に戻ります。

●作動チャート

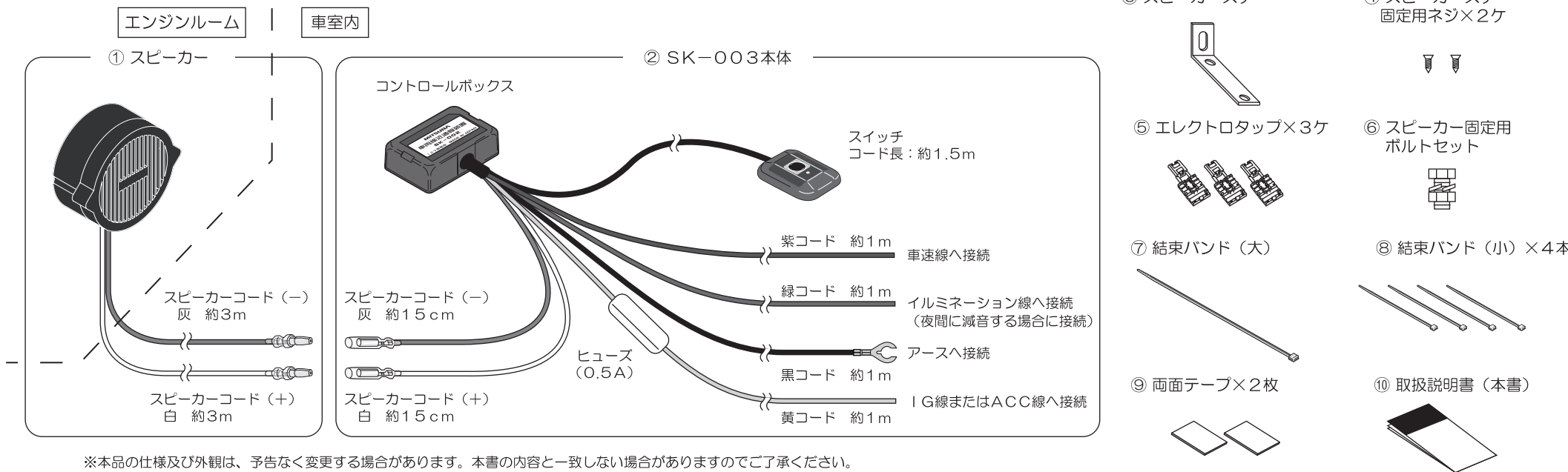
車両の状態	本品の作動状態	スイッチLEDの表示
イグニッションOFF	電源OFF	消灯
イグニッションONで停車中	消音	点灯
車速約2～約20km/hで走行中	3段階の発音	車速に連動して点滅
車速約20km/h以上で走行中	消音	点灯
イグニッションONにてスイッチを短押し(2秒未満)	押すごとに発音⇄消音の切り替え	消音中：約2秒間隔で点滅

●主な仕様

定格電圧	DC12V車専用
適応車速信号	4パルス デジタル信号
作動電圧範囲	DC8.5V～18V
消費電流	500mA以下(発音時)
使用温度範囲	-25℃～60℃
通報音の種類	2種類(メイン/サブ)

3 商品構成と接続イメージ

※ お取り付け頂く前に、すべて揃っているか確認してください。



<< 保証規定 >>

保証範囲や条件など詳しい内容についてご説明します。必ずお読みください。

お買い上げ頂きました本品は、弊社の厳しい品質管理のもとで製造されたものです。
万一、製造上の不具合がありました場合には、この保証書に示す条件に従って無償で修理・交換させて頂きます。

修理・交換は、お買い上げ店に保証書・不具合内容を提示の上、ご依頼ください。

- この保証書は保証期間が満了したときに効力を失うものとします。
また保証期間内であっても商品が日本国外に持ち出されたときは効力を失うものとします。
(This warranty is valid only in Japan.)
- この保証書は破損または紛失した場合でも再発行は致しませんので大切に保管してください。

次に該当する場合は、保証期間内であっても無償修理の対象となりませんので、ご注意ください。

- 本品を分解・改造した形跡が認められた場合。(本品のシール類を剥がした場合も含む)
- お客様の故意または過失による故障と認められた場合。
- 地震・台風・水害などの天災ならびに火災・事故・その他紛争などによる損傷が認められた場合。
- 取付・取扱説明書に記載されている諸事項が守られなかったために不具合が発生した場合。
- 保証書の提示がないか、あるいは記載事項の不足、文字の書き換えが認められた場合
- 販売店様の押印またはレシートが無い場合。

キリトリセン

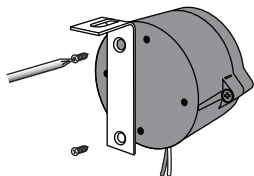
4 取り付け方法

注意

- ・テスターで接続先を確認する場合を除き、バッテリーケーブルのマイナス端子を外してから作業をしてください。ケーブルを外さないで作業すると、配線がショートし、故障や火災の原因となります。
- ・外し方については、車両搭載装置に悪影響を与える恐れがありますので、お近くのカーディーラーやサービスマニュアル等で確認してください。

1 スピーカーの取り付け

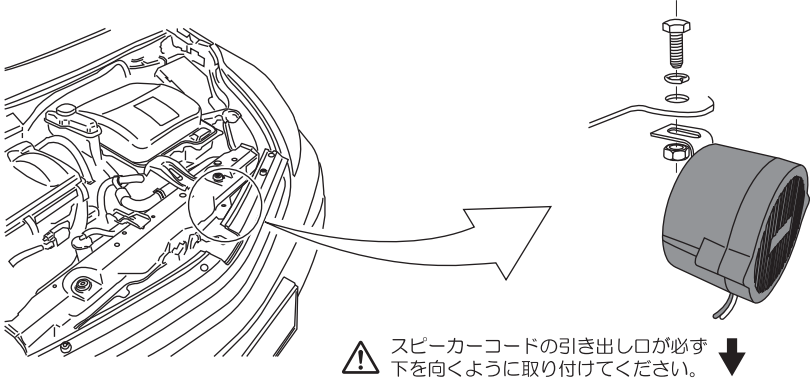
- ① 付属のネジでステーをスピーカーに取り付けてください。(2箇所)



- ② 車両の既存穴を利用して、付属のボルトセットでスピーカーを取り付けてください。

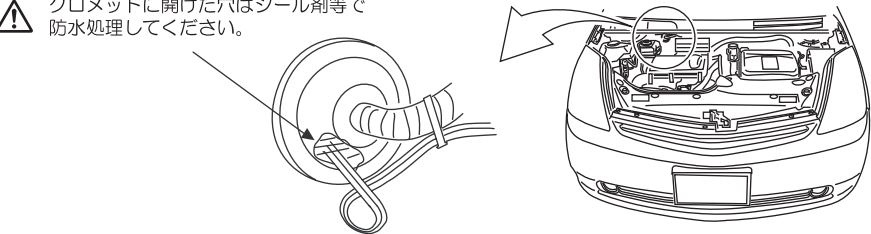
注意

- ・スピーカーは車体の鉄フレーム等に確実に固定してください。走行中に脱落するとお車の故障、事故の原因となります。
- ・また、お取り付け後は、ボルトセットに緩みがないか定期的に点検してください。
- ・スピーカーコードの引き出し口が必ず下を向くように取り付けてください。



- ③ エンジンルームから車室内に配線を通すグロメットに穴を開けて、スピーカーコード2本を車室内に引き込んでください。

- ・グロメットに開けた穴はシール剤等で防水処理してください。



- ④ スピーカーコード2本をSK-003本体から出ている同色のコードとそれぞれ接続してください。

注意

- ・スピーカーコード接続の際は、端子を奥まで確実に差し込んでください。端子の差し込みが不十分だと、外れて動作しなくなったり、端子が車体にショートして車両火災を引き起こす恐れがあります。

- ⑤ スピーカーコードを付属の結束バンド等で配線処理してください。

注意

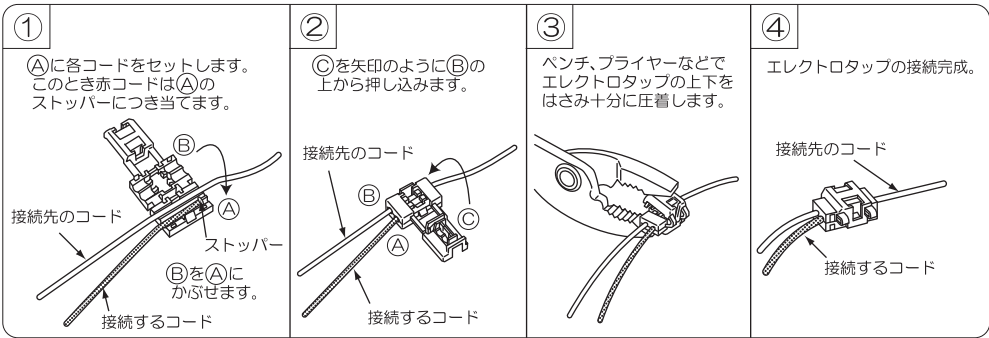
- ・スピーカーコードの配線は、高温になる場所や回転機等動く装置の近くを避けて、たるみが無いように確実に配線・固定してください。
- ・本品や車の故障、さらには車両火災を引き起こす恐れがあります。

2 各コードの接続

【参考】付属のエレクトロタップの接続方法

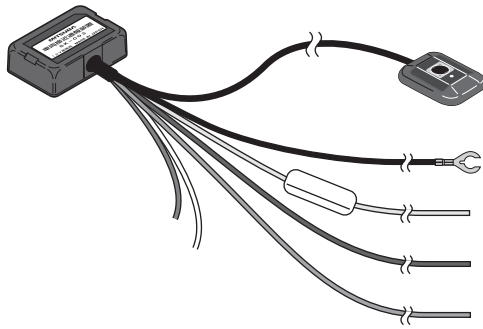
注意

- ・付属のエレクトロタップの適用電線範囲は、0.3~0.75mm²(AWG22~18)です。範囲外の電線には使用しないでください。接触不良や断線の原因となります。
- ・配線接続時は、エレクトロタップのフタを確実にロックしてください。
- ・エレクトロタップの金属部が車体の金属部などに接触すると、ショートし故障や火災の原因となります。



各コードを以下に従って、それぞれの接続先に確実に接続してください。

各コードの接続先

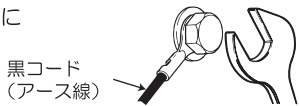


- ① 黒コード（アース線）の接続

注意

- ・ボディアースとは、コードを車体の金属部に接続することで、間接的にバッテリーのマイナスに接続することです。金属部の汚れや塗装等を取り除いて確実に接続してください。ボディアースが確実に接続されていない場合、動作不良の原因となります。

黒コードを車両のアースポイントに接続し、確実にボディアースしてください。



- ② 黄コード（IG線またはACC線）の接続

注意

- ・黄コードを間違えて常時電源線に接続してしまうと、スイッチのLEDが消えなくなりバッテリー消耗の原因となります。黄コードは、必ず、車両のIG線またはACC線に接続してください。
- ・接続先を調べる際は、必ずテスターを使用してください。検電ランプを使用すると、車両の回路破損等の原因となります。

黄コードを車両側のIG線またはACC線（イグニッションがOFFのとき0V、ONまたはACCのときに+12Vを示す線）に付属のエレクトロタップを使用して接続してください。

- ③ 紫コード（車速線）の接続

紫コードを車両側の車速信号線に付属のエレクトロタップを使用して接続してください。

- ④ 緑コード（イルミネーション線）の接続

スモールランプ点灯に連動した夜間減音機能をご利用頂く場合は、緑コードを車両側のイルミネーション線に付属のエレクトロタップを使用して接続してください。

3 スイッチの固定

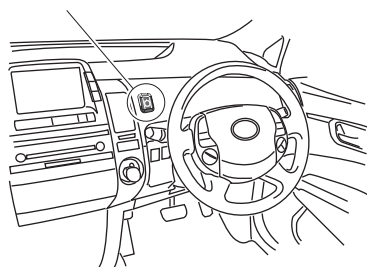
注意

- ・直射日光が長時間当たる場所や水がかかるような場所は避けてください。
- ・また、運転操作に支障をきたすような場所へのお取り付けも避けてください。
- ・スイッチの配線時は、コードを引っばらないように注意してください。断線の原因となります。

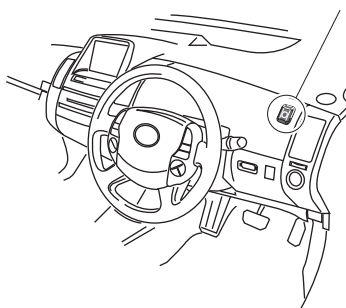
スイッチを固定する面の汚れ・油分等をよく拭きとってから、付属の両面テープでスイッチを操作しやすい場所に固定してください。

≪スイッチ取付位置参考≫

例1.ステアリング左側



例2.ステアリング右側



4 コントロールボックスの固定

注意

- ・コントロールボックスは防水仕様ではありません。必ず、水のかからない場所に設置してください。また、エアコン吹出口周辺等や温度変化の激しい場所には設置しないでください。故障の原因となります。

コントロールボックスを付属の結束バンド（大）または両面テープで運転に支障のない場所に固定してください。

5 各コードの配線処理

注意

- ・各コードを確実に配線処理してください。配線処理が不十分な場合、配線が他の装置に絡まったり、噛み込んだりし、動作不良や故障、思わぬ事故の原因となります。

各コードを付属の結束バンド（小）や、テープ等を使用して確実に固定してください。

5 使用方法

- ① 電源ON

車両のイグニッションを「ACC」または「ON」にすると、スイッチのLEDが点灯し、本品に電源が入ったことをお知らせします。
このとき、本品は常に初期状態となり、発音モードは自動、通報音はメインとなります。

- ② 発音とスイッチLEDの連動

前後進ともに発進後、車速約2km/hから約20km/hで走行中、通報音を発音します。
通報音は、車速に連動して3段階に音程・音量が変化し、スイッチのLEDも車速に連動して点滅間隔が変化します。

- ③ 発音⇄消音の切り替え

電源が入った状態で、スイッチを短押し（2秒未満）すると、スイッチLEDは約2秒間隔のゆっくりとした点滅となり、本品は消音モードとなります。消音モードの状態では、車速約2km/hから約20km/hでの走行中も発音を停止します。
消音モードの状態で、再度スイッチを短押し（2秒未満）すると、発音モードへ戻ります。

- ④ 通報音の選択（メイン/サブ）

電源が入った状態で、スイッチを長押し（2秒以上）すると、サブの通報音へ音色を変更することが出来ます。
再度、スイッチを長押し（2秒以上）することで、メインの通報音へ戻すことが出来ます。

- ⑤ 夜間の減音機能

本品の緑コードを車両のイルミネーション線に接続した場合、車両のライトスイッチ操作によるスモールランプ点灯に連動して、通報音の音量が小さくなります。

- ⑥ 電源OFF

車両のイグニッションを「OFF」にすると、本品の電源もOFFとなります。
（このとき、本品の各設定は、初期状態に戻ります）